

使用者の声

「殺線虫剤 ネマトリンエース粒剤」の使用感について、インタビュー!
生産者様の声を紹介いたします。



[ピーマン] 高知県 玉木さん

**ピーマンの樹を枯らす線虫は大敵。
使い始めてからは線虫が多い圃場も
しっかり抑えられるように。**



**| ピーマン栽培1年目で線虫被害に。
樹が枯れるため収量が減り、経営に痛手。**

高知県土佐市、トータル75aのハウスでピーマンを栽培している玉木さんは、22歳の時に新規就農し今年で9年目になります。就農当初はしとうを栽培していましたが、コロナ禍の影響で相場が不安定になったことなどを理由にピーマン栽培に切り替えたといいます。「周りに栽培している人が多いことや、経営しやすいという話を聞き、ピーマンを選びました。しとうと同じナス科なので、やり



やすいだろとも思いましたね」。

しかし、ピーマンの栽培を開始してすぐに線虫の被害に直面しました。「ハウスの約3分の1の樹が枯れてダメになりました。しとうを栽培していた頃は線虫が全く出ず、その存在すら知らなかつたので、対応が遅れてしまいました」と、当時の状況を語ります。本来ならピーマンは10月から翌年の6月いっぱいまで長期にわたって収穫できますが、樹が枯れてしまうとそこで収穫は終了します。「樹を一本丸ごと失うのは収益にダメージがあるので痛かったです」と振り返ります。

**| 線虫が多い圃場でもしっかり効果を発揮。
被害が大幅に減り、使いやすさも好印象。**

JJAの指導員さんに線虫被害について相談したところ、勧められたのがネマトリンエース粒剤でした。「そこまで値段も高くなかったので使い始めました。ハウスが全部で4棟あるのですが、うち3棟はネマトリンエース粒剤を使うだけで線虫が防除できています。1棟だけ線虫がとても出やすいハウスでは、ネマトリンエース粒剤の他にも石灰窒素と土壤くん蒸剤を使い、さらに太陽熱消毒も行いながら体系で防除しています。ネマトリンエース粒剤を使用するという防除体系に変えてから線虫がかなり抑えられています。結果が出ているので、今後もネマトリンエース粒剤を使っていきたいと思います」と高評価。また、効果以外にも、「粒状なので、散布時に飛散しにくい点が良いですね。臭いもあまりないので使いやすいです」と使い勝手の良さを教えてくれました。

ピーマン栽培の喜びを、「自分が考えてる通りにピーマンが育ってくれて、結果が出るのが1番嬉しいです」と語る玉木さん。今後の目標について、「将来的に面積を1haに拡大したいと思っています。収量はどこまでも増やしていきたい」と話してくれました。

※取材時(2025年1月)における個人の感想をもとに作成しています。

●使用前にラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。